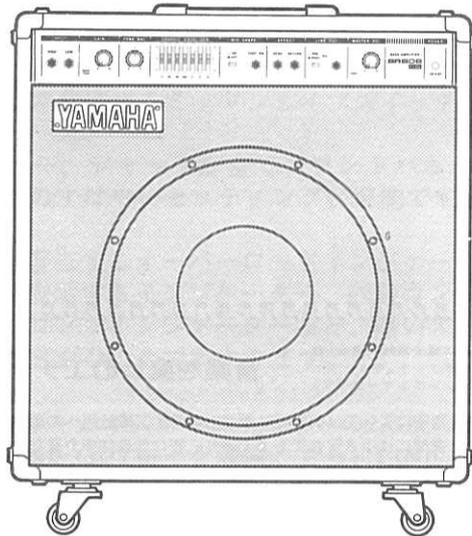


# YAMAHA

BASS AMPLIFIER

# SR808

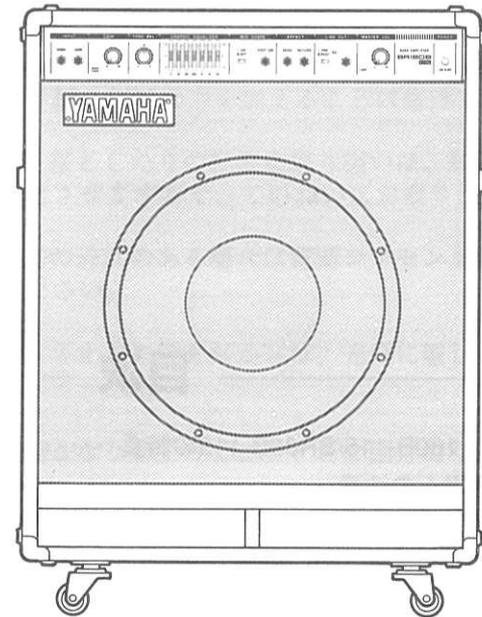
# 115



BASS AMPLIFIER

# SR1608

# 115



取扱説明書

## ごあいさつ

このたびは、YAMAHAベースアンプリファイアSR160B-115/SR80B-115をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

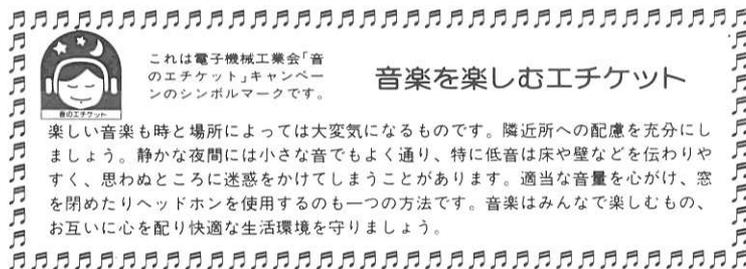
SR160B-115/SR80B-115は、限りない可能性を秘めた新しいコンセプトのベースアンプです。

スピーカー、エンクロージャー、イコライザーカーブ、コントロールレンジ等あらゆる要素を本モデル用にビルドアップし、ベースアンプに求められるサウンドを追及しました。さらにベースギターの種類や演奏条件の違いなどにかかわらず、イメージするサウンドを提供するために、幅広いコントロールレンジを設定しました。

本機の優れた性能をフルに発揮させると共に、末永くご愛用いただくため、ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みくださいますよう、お願いいたします。

## 目次

SR160B-115/SR80B-115の特長 .....	1
使用上の注意 .....	1
コントロールパネル .....	2
仕様 .....	4
ブロックダイアグラム .....	5



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

### 音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

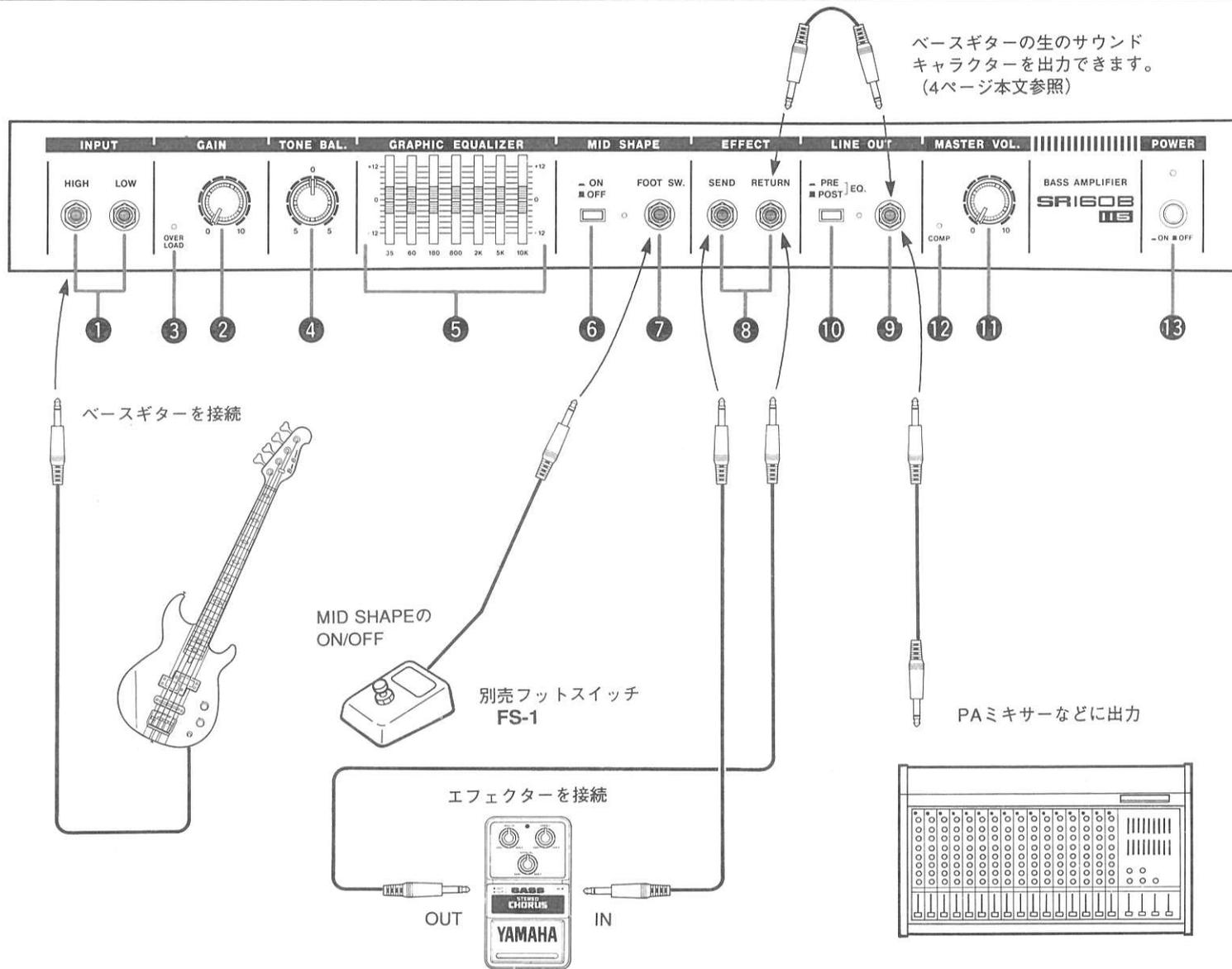
## SR160B-115/SR80B-115の特長

- ★ SR160B-115は4Ω/38cmのヤマハカスタムスピーカーをフロントオープンのバスレフエンクロージャーにマウント。  
SR80B-115は8Ω/38cmのヤマハカスタムスピーカーをリアオープンのバスレフエンクロージャーにマウント。  
いずれもスピーカーの特性を最大限に生かし、バランスのとれたサウンドを生み出す組み合わせです。
- ★ パワーアンプ部にコンプ・リミッター回路を内蔵。フルパワー(SR160B-115:160W, SR80B-115:80W)でドライブしても歪のないクリーンなサウンドが得られます。
- ★ HIGH/LOWの2つのインプットジャックとGAINコントロールにより、アクティブ、パッシブどちらのタイプのエレクトリックベースでも、最適なレベルマッチングができます。
- ★ 多彩な音作りが可能な、さまざまなコントロールを装備しています。使いやすくレンジの広いトーンバランスコントロール、厳選された7バンドのグラフィックイコライザー、チョッパー奏法に最適なセッティングをすぐに呼び出せるミッドシェイプスイッチを装備。
- ★ コントローラー、ジャックが全てフロントパネルに集中しているので、ライブでのすばやいセッティングが可能です。
- ★ 過大な入力を警告するオーバーロードインジケーターや、各スイッチの設定状態を表示するインジケーター、内蔵コンプ・リミッターの動作を表示するコンプインジケーターなど、暗いステージの上でもセッティングの状態がひとめでわかります。
- ★ プリイコライザー／ポストイコライザーの2系統のいずれかを選択して出力できるLINE OUT端子を装備。さらにLINE OUT端子とEFFECT RETURN端子を接続すれば、ベースギターの生のサウンドキャラクターを本体スピーカーからダイレクトに出力することができます。
- ★ 別売のフットスイッチを接続すれば、ミッドシェイプのON/OFFが足元で行なえます。

## 使用上の注意

- ◆ 次のような場所でご使用になりますと、故障の原因となりますのでご注意ください。
  - ・ 直射日光の当たる場所や暖房器具のそばなど
  - ・ 温度の特に低い場所、または高い場所
  - ・ 湿気やホコリの多い場所
  - ・ 振動の多い場所
- ◆ スピーカー等の損傷を防ぐため、接続コードの脱着時や電源のON/OFF時には、MASTER VOL. とGAINコントロールを必ず反時計方向に回し、音量を“0”にしてください。
- ◆ 本機は日本国内仕様です。必ずAC100V、50/60Hzの電源コンセントに接続して使用してください。
- ◆ ヒューズ交換の際には、必ず当社規定のものをご使用ください。
- ◆ スイッチやツマミ類に無理な力を加えることは避けてください。
- ◆ 物をぶついたり、落としたりの乱暴な取り扱い、製品に悪い影響を与え、性能を劣化させますので、ていねいにお取り扱いください。
- ◆ 安全のため、落雷の恐れのある場合は電源コンセントから電源プラグを抜き取ってください。
- ◆ 雑音の原因となるネオンや蛍光灯からは、十分に離してご使用ください。
- ◆ 故障や感電の原因となりますので、ケースを開けたり改造しないようにしてください。

# フロントパネル



## ① INPUTジャック (HIGH, LOW)

入力用ジャックです。ベースギターをここに接続します。パッシブタイプのエレクトリックベース（アンプを内蔵しないピックアップをマウント）は、HIGH側ジャックへ接続します。アクティブピックアップなどのローインピーダンスタイプのエレクトリックベースは、LOW側またはHIGH側ジャックへ接続します。

## ② GAINコントロール

プリアンプボリュームです。ベースギターを弾きながらこのつまみを廻して、OVER LOADインジケータ③が点灯しない範囲でできるだけ高いレベル（右廻し）につまみをセットしてください。

## ③ OVER LOADインジケータ

このインジケータが点灯したら、オーバーロード状態。音が歪んでしまいます。GAINコントロール②を絞って（左廻し）ください。

## ④ TONE BAL.コントロール

トーンを調整します。つまみを右に回すほど高域がブースト（強調）され、左に回すほど低域がブーストされます。

## ⑤ 7バンドグラフィックイコライザ

各つまみ下部の周波数ごとに±12dBの範囲でブースト、カットができます。つまみを上方向に移動するほどブースト（強調）され、下方向に移動するほどカットされます。緻密なトーンセッティングの他に、ノイズやハウリングを抑えることにも使えます。

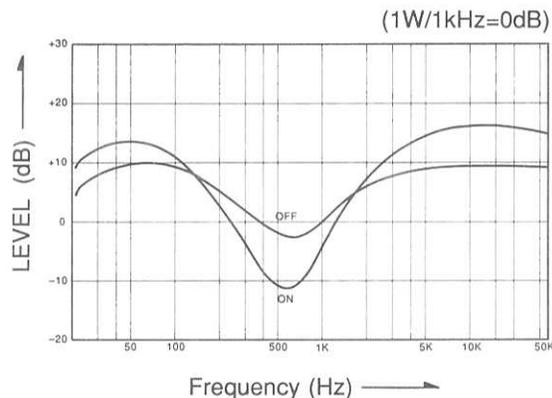
## ⑥ MID SHAPEスイッチ

### ⑦ MID SHAPE用フットスイッチジャック

このスイッチをONにすると、中域が抑えられ低域と高域が強調された、チョッパー奏法に最適な周波数特性カーブに設定されます。別売のヤマハFS-1等のフットスイッチを⑦のFOOT SW.ジャックに接続すれば、シェイプ機能のON/OFFを足元で切り換えることができます。

※ フットスイッチ接続中は、フロントパネルのMID SHAPEスイッチでのON/OFFはできません。

MID SHAPEスイッチの特性



## ⑧ エフェクトSEND/RETURNジャック

コーラスやフランジャーなどのエフェクターを使用する場合は、このEFFECT SEND/RETURNジャック間に接続します。本機でトーンセッティングした信号にエフェクトをかけることができます。

# 仕様

## ⑨ LINE OUTジャック

## ⑩ LINE OUTスイッチ

スイッチ⑩の設定により、以下のいずれかの信号をLINE OUTジャックよりPAミキサーなどに出すことができます。

PRE EQ. : GAINツマミで調整した入力信号を、イコライザー等の回路を通さずに、直接パワーアンプで増幅して出力します。(P5.ブロックダイアグラム参照)

POST EQ. : GAIN, TONE BAL., GRAPHIC EQUALIZER, MID SHAPEでイコライジングされた信号を出力します。

※ LINE OUTジャックとEFFECT RETURNジャックとを接続し、LINE OUTスイッチをPRE EQ.にセットすると、PRE EQ.信号で本機のスピーカーをドライブさせることができます。(コントロールはGAIN②& MASTER VOL.⑩のみ)

## ⑪ マスターボリューム

サウンドメイクした信号のトータルの音量(出力レベル)をこのツマミで設定します。

## ⑫ COMP.インジケーター

本機の内蔵コンプ・リミッターが作動している時に点灯し、出力レベルを一定に保ちます。

## ⑬ 電源スイッチ&インジケーター

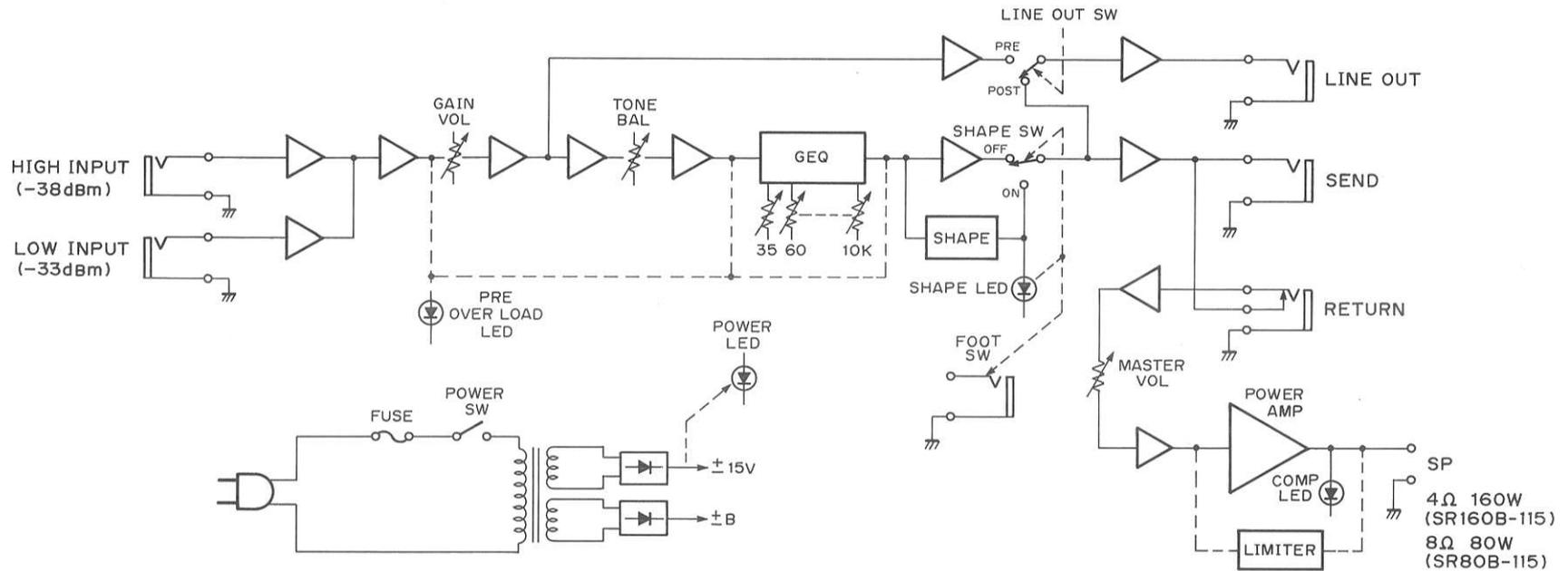
本機の電源スイッチです。ONにするとインジケーターが点灯します。

モデル	SR160B-115	SR80B-115
定格出力 (T.H.D. 10%)	160 W / 4Ω	80 W / 8Ω
スピーカー	38 cm (4Ω) × 1 JA3821	38 cm (8Ω) × 1 JA3822
入力感度/インピーダンス (1 kHz) TONE BAL. & G. EQ: center GAIN & MASTER VOL.: max.	HIGH LOW RETURN	-38 dBm / 1 MΩ -33 dBm / 27 kΩ -18 dBm / 100 kΩ
出力端子/レベル (1 kHz)	SEND LINE OUT	-18 dBm / 680 Ω -18 dBm / 680 Ω
トーンコントロール TONE BAL. MID SHAPE G. EQ	100 Hz 10 kHz 100 Hz 10 kHz 7バンド(35, 60, 180, 800, 2k, 5k, 10k Hz) ±12 dB	+10 dB +8 dB +15 dB +20 dB
残留ノイズ GAIN & MASTER VOL.: min. フィルター無し	-60 dBm 以下	-55 dBm 以下
その他の機能	ラインアウトスイッチ オーバーロードインジケーター コンプインジケーター	
ヒューズ	5 A	3 A
消費電力	130 W	60 W
寸法 (W×H×D)	607×807×382 mm (キャスター含む)	605×698×344 mm (キャスター含む)
重量	49 kg	37.5 kg

※ 0 dB = 0.775 Vr.m.s.

※ 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

# ブロックダイアグラム



# サービスについて

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1ヶ年です。(現金、ローン、月賦などによる区別はございません。)また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

## ● 保証書

保証書をお受け取りのときは、お客様のご住所、お名前、お買上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

## ● 保証書は大切にしましょう!

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客様にご購入の日から向こう1ヶ年間の無償サービスをお約束申し上げるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただくことになります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮のうえで保管してください。

また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種判別や、サービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

## ● 保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買い上げ店にご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂く場合もあります。

またお買い上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買い上げ店あるいは右記のヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

## ● 保証期間後のサービス

満1ヶ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。)

そのほかご不明の点などございましたら、右記のヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点までお問い合わせください。

## ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点

【修理受付および修理品お預り窓口】

北海道サービスセンター	〒064	札幌市中央区南十条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL (011)513-5036
仙台サービスセンター	〒983	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL (022)236-0249
新潟サービスセンター	〒950	新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F	TEL (025)243-4321
東京サービスセンター	〒101	東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F	TEL (03)3255-2241
首都圏サービスセンター	〒211	川崎市中原区木月1184	TEL (044)434-3100
浜松サービスセンター	〒435	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL (053)465-6711
名古屋サービスセンター	〒454	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL (052)652-2230
大阪サービスセンター	〒565	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL (06)877-5262
神戸サービスセンター	〒650	神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ(株)神戸店内7F	TEL (078)321-1195
四国サービスセンター	〒760	高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店内	TEL (0878)22-3045
広島サービスセンター	〒731-01	広島市安佐南区西原2-27-39	TEL (082)874-3787
九州サービスセンター	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL (092)472-2134
[本社] カスタマーサービス部	〒435	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL (053)465-1158

## ヤマハ株式会社LM営業部

ギター・ドラム営業課	〒104	東京都中央区銀座7-9-18 (パールビル8F)	TEL (03)5568-2934
東京支店LM営業課	〒104	東京都中央区銀座7-11-3 (矢島ビル)	TEL (03)3574-8592
関東支店LM営業課	〒104	東京都中央区銀座7-11-3 (矢島ビル)	TEL (03)3574-8592
大阪支店LM営業課	〒542	大阪市中央区南船場3-12-9 (心齋橋プラザビル東館)	TEL (06)252-5231
名古屋支店LM営業課	〒460	名古屋市中区錦1-18-28	TEL (052)201-5199
九州支店LM営業課	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL (092)472-2130
北海道支店LM営業課	〒064	札幌市中央区南十条西1丁目1-50 (ヤマハセンター)	TEL (011)512-6113
仙台支店LM営業課	〒980	仙台市青葉区大町2-2-10	TEL (022)222-6147
広島支店LM営業課	〒730	広島市中区紙屋町1-1-18 (ヤマハビル)	TEL (082)244-3749

※住所及び電話番号は変更になる場合があります。

ヤマハ株式会社